

市町村調査等の結果について

1 教育・保育の量の見込み及び確保方針について

項目	27年度					28年度					29年度					30年度					31年度									
	合計	2号認定		3号認定		合計	2号認定		3号認定		合計	2号認定		3号認定		合計	2号認定		3号認定		合計	2号認定		3号認定						
		1号認定	教育 二一ス	保育 二一ス	0歳		1・2歳	1号認定	教育 二一ス	保育 二一ス		0歳	1・2歳	1号認定	教育 二一ス		保育 二一ス	0歳	1・2歳	1号認定		教育 二一ス	保育 二一ス	0歳	1・2歳	1号認定	教育 二一ス	保育 二一ス	0歳	1・2歳
量の見込み (a)・(b)・(c)	24,943	2,910	1,841	10,949	2,061	7,152	24,567	2,879	1,813	10,764	2,044	7,067	24,219	2,843	1,794	10,601	2,017	6,964	23,961	2,817	1,766	10,504	1,985	6,869	23,555	2,776	1,747	10,328	1,943	6,761
市内村内居住の子ども(a)	24,994	2,879	1,885	10,944	2,065	7,221	24,627	2,847	1,859	10,762	2,047	7,112	24,285	2,810	1,841	10,602	2,020	7,012	24,041	2,788	1,833	10,514	1,988	6,918	23,640	2,746	1,793	10,343	1,947	6,809
うち、他市町村の施設 を利用する子ども(b)※	442	182	147	35	10	68	438	181	145	37	9	66	429	179	146	29	9	66	427	180	146	28	8	65	425	180	145	27	8	65
他市町村から受け 入れる子ども(c)※2)	391	213	103	40	6	29	378	213	99	39	6	21	363	212	99	28	6	18	347	209	99	18	5	16	340	208	99	12	4	17
確保方針(計画定員数) (a)・(b)・(c)・(d)	29,137	4,243	1,964	13,082	2,051	7,797	29,402	4,317	2,216	12,927	2,083	7,859	29,401	4,226	2,321	12,880	2,091	7,883	29,382	4,244	2,321	12,866	2,088	7,863	29,291	4,250	2,301	12,802	2,095	7,843
特定教育・保育施設(a) 施設数	26,747	2,598	1,888	12,983	1,882	7,416	27,543	3,161	2,142	12,832	1,890	7,518	27,548	3,067	2,250	12,788	1,904	7,541	27,527	3,085	2,250	12,770	1,901	7,521	27,436	3,089	2,232	12,706	1,906	7,503
確保を要しない幼稚園(b) 施設数	1,721	1,645	76	0	0	0	1,230	1,156	74	0	0	1,230	1,159	71	0	0	1,230	1,159	71	0	0	0	0	1,230	1,161	69	0	0	0	0
特定地域型保育事業(c) 施設数	235	0	0	0	87	148	244	0	0	0	102	142	244	0	0	0	102	142	244	0	0	0	102	142	244	0	0	0	102	142
認可外保育施設(d) 施設数(※保育所を除く)	434	0	0	99	102	233	365	0	0	95	91	199	379	0	0	94	85	200	381	0	0	96	85	200	381	0	0	96	87	198
差引(確保方針 - 量の見込み)	4,194	1,333	123	2,133	-10	615	4,835	1,438	403	2,163	39	792	5,182	1,383	527	2,279	74	919	5,421	1,427	535	2,382	103	994	5,736	1,474	554	2,474	152	1,082

(単位:人)

県内の保育士の現状について

H26.9 幼保支援課

1 高知県での保育士登録状況及び保育士就業者数の推移

(人)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	対H20
登録者数【4月1日】(A)	7,380	7,759	8,107	8,427	8,738	9,048	9,392	2,012 (127.3%)
(新規登録者数)	(379)	(348)	(320)	(311)	(310)	(344)		△ 35 (90.8%)
就業者数(B)	3,273	3,394	3,420	3,549	3,606	3,678	3,729	456 (113.9%)
潜在保育士数(A-B)	4,107	4,365	4,687	4,878	5,132	5,370	5,663	1,556 (137.9%)

※保育所運営状況等調査(県調査)

2 保育所、幼稚園児童数の推移

(人)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	対H20
保育所	19,415	19,128	19,165	19,206	19,092	18,890	18,828	△ 587 (97.0%)
幼稚園	4,608	4,402	4,403	4,399	4,452	4,259	4,211	△ 397 (91.4%)
計	24,023	23,530	23,568	23,605	23,544	23,149	23,039	△ 984 (95.9%)

※保育所運営状況等調査(県調査)、学校基本調査(文部科学省)

3 保育士数の推移(保育所)

(人)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	対H20	
常勤	正規職員	1,571	1,572	1,550	1,520	1,542	1,512	1,514	△ 57 (96.4%)
	(対前年度)		1	△ 22	△ 30	△ 8	△ 30	2	
	臨時職員	1,145	1,239	1,298	1,384	1,388	1,490	1,490	345 (130.1%)
	(対前年度)		94	59	86	90	102	0	
計	2,716	2,811	2,848	2,904	2,930	3,002	3,004	288 (110.6%)	
(対前年度)		95	37	56	82	72	2		
パート	557	583	572	645	676	676	725	168 (130.2%)	

※保育所運営状況等調査(県調査)

4 保育士数増の要因と考えられるもの

(1) 0歳児入所数(職員配置基準3:1)

(人)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	対H20
0歳児数 (うち高知市)	624 (383)	657 (389)	711 (412)	716 (441)	761 (460)	837 (485)	809 (472)	185 (129.6%) (89) (123.2%)

※保育所運営状況等調査(県調査)

(2) 保育所での障害児数、補助対象加配保育士数(高知市除く)

(人)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	対H20
特別児童扶養手当 支給対象障害児数	147	148	157	186	212	235	88 (159.9%)
上記以外で支援を 要する障害児	57	67	86	119	156	171	114 (300.0%)
障害児数 計	204	215	243	305	368	406	202 (199.0%)
加配保育士数	-	212	231	267	306	334	122 (157.5%)

※障害児保育の実施状況調査(厚生労働省)＋県追加調査【保育士数】

平成23～25年度 幼保合同研修の実績

H26. 9. 8作成

研修名	目的・内容	平成23年度				平成24年度				平成25年度			
		実施回数		参加者・園数		実施回数		参加者・園数		実施回数		参加者・園数	
		実施回数	参加者・園数	実施回数	参加者・園数	実施回数	参加者・園数	実施回数	参加者・園数	実施回数	参加者・園数		
園内研修支援	子ども一人一人に生きる力の基礎を育む保育・教育を実践するため、県幼保支援指導主事、幼保支援アドバイザーが、保育所・幼稚園等の実施する園内研修を支援することにより、園内研修の充実とともに、保育・教育の質の向上を図る。 ※少数ではあるが各園の園内研修に他園より参加することがある。	98回	26園	20園	85回	23園	20園	104回	26園	26園	26園		
ブロック別研修支援	県内13ブロックにおける「ブロック別研修会」の開催を通して、ブロック内における主体的な実践研修のためのネットワーク化を推進することにより、保育・教育の質の向上を図る。	園内研修 23回 公開保育 16回	公開保育参加 者数 40人	公開保育参加 者数 302人	園内研修 90回 公開保育 14回	公開保育参加 者数 17人	公開保育参加 者数 349人	園内研修 91回 公開保育 15回	公開保育参加 者数 21人	公開保育参加 者数 445人			
保育実践スキルアップ推進事業	保育所・幼稚園の実態に応じた研究テーマを設定し2年間研究を進め、公開保育・研究協議を通して、保育実践の向上を図る。	園内研修 39回 公開保育 2回	公開保育参加 者数 135人	公開保育参加 者数 8人	園内研修 13回 公開保育 2回	公開保育参加 者数 11人	公開保育参加 者数 53人	—	—	—			
手引기에係る説明会	保育所・幼稚園・認定こども園における保育実践の参考となるために作成した手引きについての説明会を実施し、普及・啓発を図り、乳幼児期にふさわしい保育・教育の現状を目指す。	5回	45人	195人	—	—	—	—	—	—			
保育の見方・記録のとおり方セミナー	保育の振り返りとしての評価・反省につながる、日々の記録のとおり方等についてセミナーを実施し、保育者の資質・専門性の向上を図る。	3回	36人	204人	—	—	—	—	—	—			
明日の保育をつくりだすためのセミナー	保育の見方・記録の取り方を基本とし、子どもたちが自発的に活動し様々な経験をすることができるとともに、保育者の関わりや環境構成など保育実践に活用できるセミナーを実施し、保育者の資質・専門性の向上を図る。	—	—	—	3回	18人	142人	—	—	—			
記録から生まれる指導計画作成セミナー	保育者が乳幼児期にふさわしい保育・教育の実現のための幼児理解を基本とし、見直しをもった計画性のある保育・教育のためのセミナーを実施することにより、保育者の資質・専門性の向上を図る。	—	—	—	—	—	—	3回	47人	143人			
幼児教育研究協議会1期	新幼稚園教育要領の周知を行う中で明らかとなった課題の中から県が協議するテーマを設定し、毎年各都道府県毎に協議会を開催する。さらに、その結果を全国協議会において検証していくことにより、幼稚園教員等の幼稚園教育要領に対する理解を深める。(文部科学省委託事業)	1回	160人	27人	1回	121人	22人	1回	166人	23人			
幼児教育研究協議会2期		1回	144人	28人	1回	114人	22人	1回	159人	17人			

研修名	目的・内容	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		実施回数	参加者・園数 幼稚園	参加者・園数 保育所	実施回数	参加者・園数 幼稚園	参加者・園数 保育所	実施回数	参加者・園数 幼稚園	参加者・園数 保育所
発達障害等の幼児の引き継ぎに関する研修会	発達障害等のある幼児に対し、計画的・継続的な指導・支援となるよう、保育所、幼稚園等と就学前との円滑な接続を行うために、就学時引き継ぎシートの普及を図る。	—	—	—	3回	24人	174人	3回	46人	187人
児童虐待に関する研修会	児童虐待を早期に発見する視点と虐待事例を通して適切な対応について学ぶことを通して、支援体制の充実と保育士・教員等の対応能力の向上を図る。	—	—	—	3回 (「発達障害等の幼児の引き継ぎに関する研修会」と合同開催)	24人	174人	3回	15人	67人
運動遊びプログラム研修会 I	幼児の心身の健全な発育・発達を促すことを目的として作成した運動遊びプログラムについて、実技研修等を通して県内に普及すると共に、幼児が自ら体を動かす心地よさを十分味わうことで、体を動かすことへの意欲的な態度や発達段階に応じた身体能力の育成を図る。	5回	47人	153人	5回	30人	201人	—	—	—
運動遊びプログラム研修会 II	保育所・幼稚園等において幼児期の運動遊びプログラムに基づく実技指導研修会を行い、幼児が自ら体を動かす心地よさを十分味わうことで、体を動かすことへの意欲的な態度や発達段階に応じた身体能力の育成を図る。	—	—	—	—	—	—	7回	26人	171人
幼保連携推進支援事業	幼児期の保育・教育への理解を深め、幼児の学びをつなぐために、それぞれの地域の実態に即した主体的な取組を支援し、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図る。	2回	—	70人	8回	—	140人	1回	2人	10人

【基礎研修】 受講科目一覧

科目名		区分	時間	内容	
導入	家庭的保育の概要	講義	60分	① 家庭的保育の歴史的経緯	
				② 家庭的保育の特徴	
				③ 家庭的保育のリスクを回避するための課題	
家庭的保育の基礎	乳幼児の発達と心理	講義	90分	① 発達とは	⑤ 手のはたらきと探索
				② 発達時期の区分と発達	⑥ 移動する力
				③ ことばとコミュニケーション	⑦ ことばと行動の発達を支える家庭的保育者の役割
				④ 自分と他者	
	食事と栄養	講義	60分	① 離乳の進め方に関する最近の動向	③ 食物アレルギー
				② 栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント	④ 家庭的保育者が押さえる食育のポイント
小児保健Ⅰ	講義	60分	① 乳幼児の健康観察のポイント	③ 衛生管理・消毒について	
			② 発育と発達について	④ 薬の預かりについて	
小児保健Ⅱ	講義	60分	① 子どもに多い症例とその対応		
			② 子どもに多い病気とその対応		
心肺蘇生法	実技	120分			
家庭的保育の実践	家庭的保育の保育内容	講義 演習	120分	① 家庭的保育における保育内容	⑤ 地域の社会資源の活用
				② 家庭的保育の1日の流れ	⑥ 家庭的保育の記録
				③ 異年齢保育	⑦ 保育の体制
				④ 新しく子どもを受け入れる際の留意点	
	家庭的保育の環境整備	講義	60分	① 保育環境を整える前に	
				② 家庭的保育に必要な環境とは	
	家庭的保育の運営と管理	講義	60分	① 情報提供	③ 家庭的保育の運営上必要な記録と報告
				② 受託までの流れ	④ 個人事業主としての財務管理
安全の確保とリスクマネジメント	講義	60分	① 子どもの事故	③ 緊急時の連絡・対策・対応	
			② 子どもの事故の予防 保育上の留意点	④ リスクマネジメントと賠償責任	
家庭的保育者の職業倫理と配慮事項	講義 演習	90分	① 家庭的保育者の職業倫理	④ 地域との関係	
			② 家庭的保育者の自己管理	⑤ 保育所や様々な保育者との関係	
保護者への対応	講義 演習	90分	③ 家庭的保育者自身の家族との関係	⑥ 行政との関係	
			① 家庭的保育における保護者との関わりと対応	③ 子育て支援における保護者への相談・助言の原則	
子ども虐待	講義	60分	② 家庭的保育における保護者への対応の基本	④ 保護者への対応 ～事例を通して考える～	
			① 子どもの虐待への関心の高まり	⑤ 子ども虐待の発見と通告	
気になる子どもへの対応	講義	90分	② 子ども虐待とは	⑥ 虐待を受けた子どもに見られる行動特徴	
			③ 子ども虐待の実態	⑦ 子どもが家で虐待を受けたと思われたならば	
気になる子どもへの対応	講義	90分	④ 虐待が及ぼす影響	⑧ 家庭的保育で不適切な関わりを防ぐために	
			① 気になる行動	④ 気になる行動の原因とその対応	
研修を進めるうえで必要な講義	見学実習 オリエンテーション	演習	60分	① 見学実習のポイントと配慮	
				② 見学を引き受ける際の留意事項	
	グループ討議	演習	90分	① 討議の目的	
				② 討議の原則	
				③ 討議の効果	
				④ 討議の進め方	
見学実習		実習	2日	複数の家庭的保育者のもとで家庭的保育を実習	
				① 保育日誌・家庭連絡帳の作成の仕方	(実習のうち1日は家庭的保育の1日の流れを体験)
実施自治体の制度について	講義	60分	② 実習日誌作成・提出		
			① 連携保育所	④ 巡回相談・監査指導等	
			② 関係機関	⑤ 報告事項などについて	
				③ 地域資源	

【認定研修】 受講科目一覧

科目名	区分	時間	内容	
子ども家庭福祉	講義	4時間	「児童福祉」関連	「社会福祉」関連
			① 児童福祉の意義とその歴史的展開	① 現在社会と社会福祉の意義
			② 児童福祉に関する制度と福祉機関・施設	② 社会福祉の法体系と実施体系
			③ 児童福祉の現状と課題	③ 社会福祉援助技術の概要
			④ 児童福祉の実践と児童福祉従事者	④ 社会福祉専門職
			⑤ 相談援助活動	⑤ 社会福祉の動向
			⑥ 利用者保護制度の概要	
子どもの心身の発達と保育	講義	8時間	「発達心理学」関連	
			① 発達心理学の方法と考え方	③ 発達期の特徴
			② 初期経験の重要性	④ 乳幼児期における発達援助のあり方
子どもの健康管理	講義 演習	8時間	「精神保健」関連	「小児保健」関連
			① 小児の精神機能発達と精神保健	① 小児の健康と小児保健の意義と目的
			② 小児の生活環境と精神保健	② 小児の発育・発達と生活の支援
			③ 小児各時期の精神保健	③ 小児の食生活と栄養
			④ 小児の心の健康障害	④ 心身の健康増進の意義とその実践
			⑤ 小児期の精神保健活動	⑤ 小児の疾病とその予防対策
				⑥ 事故と安全対策
				⑦ 児童福祉施設における保健対策
				⑧ 母子保健対策と保育
子どもの栄養管理	演習	6時間	「小児栄養」関連	
			① 小児の健康な生活と食生活の意義	⑥ 幼児期の食生活
			② 小児の発育・発達と食生活	⑦ 学齢期・思春期の食生活
			③ 栄養に関する基本的知識	⑧ 小児期の疾病の特徴と食生活
			④ 妊娠・授乳期の食生活	⑨ 障害をもつ小児の食生活
			⑤ 乳児期の食生活	⑩ 児童福祉施設における食生活
子どもの安全と環境	講義 演習	8時間	「小児保健」関連	「養護原理」関連
			① 小児の健康と小児保健の意義と目的	① 児童養護の概念
			② 小児の発育・発達と生活の支援	② 施設における児童養護
			③ 小児の食生活と栄養	③ 施設養護の実際
			④ 心身の健康増進の意義とその実践	④ 児童福祉施設の運営・管理と援助者
			⑤ 小児の疾病とその予防対策	⑤ 今後の課題
			⑥ 事故と安全対策(実習)	
			⑦ 児童福祉施設における保健対策	
			⑧ 母子保健対策と保育	
子どもの保育	講義	6時間	「保育原理」関連	「教育原理」関連
			① 保育の本質	① 教育の意義、目的及び児童福祉との関連性
			② 保育の場	② 教育の基礎的概念と諸理論
			③ 保育の歴史と現状	③ 教育の歴史
			④ 保育所保育の原理	④ 教育の制度
			⑤ 保育所保育の内容	⑤ 教育の実践
			⑥ 保育所保育の計画	⑥ 生涯学習社会における教育
			⑦ 発達過程に応じた保育と指導計画	⑦ 現代の教育問題
			⑧ 保育所の健康・安全上の留意事項	
			⑨ 多様な保育ニーズへの対応上の留意事項	
			⑩ 子育てに関する相談援助活動	
			⑪ 保育所における自己評価	
			⑫ 家庭、地域との連携	
			⑬ 保育士の資質と任務	
保育実習(Ⅰ)	実習	48時間	連携保育所の3歳未満児クラス中心の実習	
保育実習(Ⅱ)	実習	20日	連携保育所又は認可保育所において実習 (看護師、幼稚園教諭、家庭的保育経験者(1年以上)の者を除く)	